

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.139

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	史跡等地域文化財保存活用事業	担当部署	教育委員会 生涯学習人権課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	文化財保護法		
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		事業 期間	開始	平成	16 年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと				終期	未定
(小項目)		文化財					
施策	4	文化財の保護と活用					
基本事業	2	文化財の保護と活用					
<input checked="" type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要 (PLAN)

目的	①市内にある史跡等地域文化財について、適切な保存管理をおこなうとともに、公開活用につとめる。		事業 内容 (R1)	①国指定史跡「鳴門板野古墳群」の普及活用事業(展示会・見学会等)を実施するとともに、保存活用検討委員会を開催する。 ②国指定史跡「板東俘虜収容所跡」の普及活用事業(展示会・見学会等)を実施するとともに、保存活用検討委員会を開催する。 ③市域内出土収集文化財の整理および活用				
実施方針	①国指定史跡「鳴門板野古墳群」の保存活用 ②国指定史跡「板東俘虜収容所跡」の保存活用 ③市域内出土収集文化財の展示・収蔵施設の整備と活用 ④その他指定文化財等の保存管理と普及活用			当初 からの 変更点	板東俘虜収容所跡に関する冊子を市内の中学生などに幅広く配布するため、増刷する。			
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	国指定史跡「鳴門板野古墳群」の保存活用	10	20	30	40	45	%
	2	「板東俘虜収容所跡」の国指定史跡化(30年度まで)および保存活用(元年度以降)	90	100	10	20	20	%
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	史跡等地域文化財の保存活用		20	35	40	45	50	%

事業の 実施内容 推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①国指定史跡「鳴門板野古墳群」の保存活用 ②「板東俘虜収容所跡」の国指定史跡化に向けた作業 ③市域内出土収集文化財の展示・収蔵施設の整備と活用 ④その他指定文化財等の保存管理と普及活用	①国指定史跡「鳴門板野古墳群」の保存活用 ②国指定史跡「板東俘虜収容所跡」の保存活用 ③市域内出土収集文化財の展示・収蔵施設の整備と活用 ④その他指定文化財等の保存管理と普及活用	①国指定史跡「鳴門板野古墳群」の保存活用 ②国指定史跡「板東俘虜収容所跡」の保存活用 ③市域内出土収集文化財の展示・収蔵施設の整備と活用 ④その他指定文化財等の保存管理と普及活用	①国指定史跡「鳴門板野古墳群」の保存活用 ②国指定史跡「板東俘虜収容所跡」の保存活用 ③市域内出土収集文化財の展示・収蔵施設の整備と活用 ④その他指定文化財等の保存管理と普及活用	①国指定史跡「鳴門板野古墳群」の保存活用 ②国指定史跡「板東俘虜収容所跡」の保存活用 ③市域内出土収集文化財の展示・収蔵施設の整備と活用 ④その他指定文化財等の保存管理と普及活用

事業費推移 (千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額等	全体予算額		
	計	1,674	500	2,174	2,092	1,351

事務事業名	史跡等地域文化財保存活用事業
-------	----------------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容		①「大代古墳」の一般公開を行った。 ②「板東俘虜収容所跡」保存活用検討委員会を開催した。 ③市立図書館展示スペースで出土資料等を展示した。					
	指標名		平成30元年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	国指定史跡「鳴門板野古墳群」の保存活用	20	20	25	25	30	%
	2	「板東俘虜収容所跡」の国指定史跡化(30年度まで)および保存活用(元年度以降)	100	10	20	20	20	%
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	史跡等地域文化財の保存活用		35	35	45	50	55	%
	目標達成率(実績/目標)			87.5				%
事業費推移 (円)	年度		平成30年度決算	令和元年度決算				
				前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費	
	計		4,547,795	0	1,417,375	0	1,417,375	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	33,000	0	33,000	0	33,000	
		地方債	0	0	0	0	0	
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	
		その他	3,977,675	0	0	0	0	
一般財源		537,120	0	1,384,375	0	1,384,375		

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	史跡等地域文化財の保存活用		成果指標に対する所見	各保存活用計画検討委員会に関しては開発対応の遺跡調査発掘時期と重なり、開催回数が減ったが、板東俘虜収容所跡解説パンフレット作成事業に関しては関係各位より好評を得、大幅な増刷となった。		
	目標	40	%				
	実績	35	%				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	①史跡指定を受けた「鳴門板野古墳群」の保存活用計画策定に向けた検討委員会を実施する。 ②史跡指定を受けた「板東俘虜収容所跡」の保存活用計画策定に向けた検討委員会を実施する。 ③史跡の環境整備事業や、史跡を活用した周知啓発事業を継続して実施する。 ④収蔵文化財は、資料整理を進めるとともに、幅広く展示や貸出し等の活用を図っていく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	令和2年度	①古墳群:展示会や現地見学会などの周知啓発事業を実施すると共に、地域との協働による環境整備事業を継続する。 ②収容所跡:保存活用計画策定に向けた検討委員会を開催すると共に、平和学習の場としての活用に取組む。 ③収蔵文化財の整理活用を進める。			
	令和3年度	①古墳群:展示会や現地見学会などの周知啓発事業を実施すると共に、地域との協働による環境整備事業を継続する。 ②収容所跡:保存活用計画策定に向けた検討委員会を開催すると共に、平和学習の場としての活用に取組む。 ③収蔵文化財の整理活用を進める。			